こだま Q&A

Q23

細胞診検体採取から塗抹後、固定液をかけるときに注意することは何かありますか。

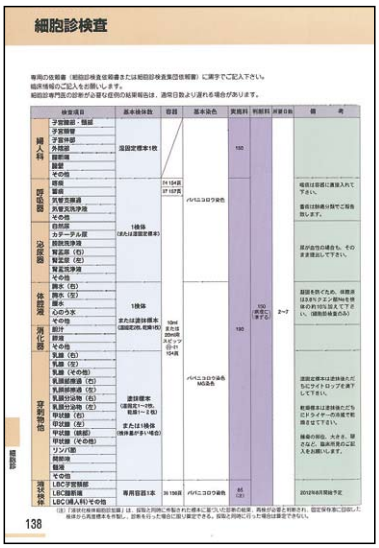
A23

細胞診の基本染色であるパパニコロウ染色は、湿固定が必須であり乾燥厳禁です（乾燥した場合には、細胞の観察が困難となり、判定に影響が出る可能性があります）。

婦人科材料や穿刺液はスライドガラスに塗抹後、直ちに（１秒以内に）固定液で塗沫面全体を覆ってください。

※当検査センターでは滴下式固定液をご用意しております。

基本の標本枚数 etc. は材料により異なりますので、『総合検査案内2012』の P138をご参照ください。



お問合せ：☎代表 0120-14-7191（フリーダイヤル） / 082-247-7191（ダイヤルイン）

きゃっちボール

ようやく暑さが通り過ぎ、朝晩が涼しくなってきました。

ドック施設にも学会があり、その一つからは毎年施設調査の報告を求められ、先日やっと終えることができました。健診所見を ICD-10に準じて集計するのに手間がかかり大変なのですが、もともとサーバー内のデータが相手なので、来年はもう少しシンプルに作業できるよう、システムの改善を検討しています。

また質問項目の中には、「健診に関する検討会を定期的に行っているか」「大規模災害発生時の防災マニュアルがあるか」など、考えさせられるものもあり、今後充実させてゆきたいと思います。　　石田　啓（臨床部長 兼 健診科科長）

広報委員
曽我部 俊二 / 濱川 以行 / 熊川 良則 / 河本 圓 / 藤岡 裕子 / 初岡 博 / 中本 啓太